

ズも多く、設立初年度から積極的に対応しており、これらの状況については都度「会報」の掲示版で紹介している。また、「年報」にも掲載している。

最近では、研修会の企画の相談もあり、適切なアドバイザーを行い講師の紹介などは全国的な規模で適任者を選定している。

市町村や農協からの講演依頼を契機に会員加入が実現したり、地域の農業振興計画策定の依頼を持ち込まれるなどの例もある。こうした触れ合いについても大事にしたいと考えている。

また、役職員の学会や研究会での研究成果を発表する機会は、日頃の研鑽の場として重要視しており、積極的な参加を行っている。

文責・常務理事 富田義昭



研修会等への講師派遣

(平成七年五月～八月)

○第26回通常総会特別記念講演

主 催 北海道農業機械工業会

と き 平成7年5月18日

テーマ 「北海道農業の活路」

講演者 七戸 長生(当研究所・所長)

○平成七年度 種苗管理専門技術

研修

主 催 農林水産省種苗管理セン

ター北海道中央農場

と き 平成7年5月22日

テーマ 「馬鈴しよの生産と流通について」

分拍講義 富田 義昭(当研究所・

常務理事)

○大洋会北海道支部 講演会

主 催 大洋会北海道支部(大洋興業株式会社)

と き 平成7年7月10日

テーマ 「北海道農業の活性化」

講演者 七戸 長生(当研究所・所長)

長)

○定例研究会 話題提供

主 催 北海道産学官研究フォーラム

と き 平成7年7月27日

テーマ 「農業生産現場における情報システムの活用」

話題提供者 富田 義昭(当研究所・常務理事)

○JA理事夏期研修会

主 催 JA北海道中央会・旭川支所

と き 平成7年8月17日

テーマ 「新食糧法下における地域農業とJAの役割」

講演者 七戸 長生(当研究所・所長)

○平成七年度中央アジア「特設農産物市場経済」コース研修

主 催 国際協力事業団(JICA)

と き 平成7年8月30日

テーマ 「北海道農業の営農シナジー」

分拍講義 富田 義昭(当研究所・常務理事)

「研究報告書」有償頒布のご案内

「中山間地における農地利用計画」

「道営土地総事業初山別地区地域総合計画」B5版 62ページ

頒布価格 一、〇〇〇円 (消費税、送料込み)

初山別村は、日本海沿岸に連なる水稲地域の限界的な位置にある。そして、西は日本海に面し、東は天塩山脈に挟まれており、山脈から日本海に流れる狭小な中小河川流域を、農業適地としている。

山間地ともいうべきこうした地域の農業は、平場の水田地帯に比べて十分な実態把握がされていない。

本報告書は、平成八年度、道営土地総事業初山別地区地域整備事業の調査報告である。

後継者を十分に確保できない初山別村では、近い将来農家戸数が激減することが予測される。そのためこの報告書では、将来の農業の担い手のあるべき姿と、供給される農地の有効活用をどのようにすべきを示したものである。